



Sun Ultra™ 40 Workstation リリースノート

Sun Microsystems, Inc.
www.sun.com

Part No. 819-5555-10
2006 年 1 月、改訂 A

この文書に関するご意見は、次の Web サイトからお送りください。 <http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

Copyright 2006 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

Sun Microsystems, Inc. は、本書に記載されている技術に関連する知的所有権を所有しています。特に、これに限定されず、これらの知的所有権には、<http://www.sun.com/patents> に掲載されている 1 つまたは複数の米国特許、米国ならびに他の国における 1 つまたは複数の特許または申請中の特許が含まれます。

本書および本製品は、その使用、複製、再頒布および逆コンパイルを制限するライセンスに基づいて頒布されます。Sun Microsystems, Inc. またはそのライセンス許諾者の書面による事前の許可なくして、本書または製品のいかなる部分もいかなる手段および形式によっても複製することを禁じます。

本製品に含まれるサードパーティソフトウェア (フォントに関するテクノロジーを含む) は、著作権を有する当該各社より Sun 社へライセンス供与されているものです。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company, Ltd. の米国ならびに他の国における登録商標で、X/Open Company, Ltd. が所有する独占的ライセンス供与権に基づいて、Sun 社にライセンス供与されています。

Sun, Sun Microsystems, Sun のロゴマーク、Java, AnswerBook2, docs.sun.com, Sun Ultra, および Solaris は、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

すべての SPARC の商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスの基に使用される、米国およびその他の国における同社の商標または登録商標です。SPARC 商標の付いた製品には、Sun Microsystems, Inc. が開発したアーキテクチャーが採用されています。

OPEN LOOK および Sun™ Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。Sun 社は、ビジュアルまたはグラフィカルユーザーインターフェイスの概念を先駆的に研究、開発し、コンピュータ業界に貢献した Xerox 社の業績を高く評価いたします。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは、OPEN LOOK GUI を実装し、そうでなければ書面によるライセンス契約に従う米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

米国政府の権利—商用。政府関連のユーザーは、Sun Microsystems, Inc. の標準ライセンス契約、および FAR とその補足条項に従う必要があります。

本書は、「現状のまま」の形で提供され、法律により免責が認められない場合を除き、商品性、特定目的への適合性、第三者の権利の非侵害に関する暗黙の保証を含む、いかなる明示的および暗示的な保証も伴わないものとします。

Copyright 2006 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, Californie 95054, Etats-Unis. Tous droits réservés.

Sun Microsystems, Inc. a les droits de propriété intellectuels relatants à la technologie qui est décrit dans ce document. En particulier, et sans la limitation, ces droits de propriété intellectuels peuvent inclure un ou plus des brevets américains énumérés à <http://www.sun.com/patents> et un ou les brevets plus supplémentaires ou les applications de brevet en attente dans les Etats-Unis et dans les autres pays.

Ce produit ou document est protégé par un copyright et distribué avec des licences qui en restreignent l'utilisation, la copie, la distribution, et la décompilation. Aucune partie de ce produit ou document ne peut être reproduite sous aucune forme, par quelque moyen que ce soit, sans l'autorisation préalable et écrite de Sun et de ses bailleurs de licence, s'il y en a.

Le logiciel détenu par des tiers, et qui comprend la technologie relative aux polices de caractères, est protégé par un copyright et licencié par des fournisseurs de Sun.

Des parties de ce produit pourront être dérivées des systèmes Berkeley BSD licenciés par l'Université de Californie. UNIX est une marque déposée aux Etats-Unis et dans d'autres pays et licenciée exclusivement par X/Open Company, Ltd.

Sun, Sun Microsystems, le logo Sun, Java, AnswerBook2, docs.sun.com, Sun Ultra, et Solaris sont des marques de fabrique ou des marques déposées de Sun Microsystems, Inc. aux Etats-Unis et dans d'autres pays.

Toutes les marques SPARC sont utilisées sous licence et sont des marques de fabrique ou des marques déposées de SPARC International, Inc. aux Etats-Unis et dans d'autres pays. Les produits portant les marques SPARC sont basés sur une architecture développée par Sun Microsystems, Inc.

L'interface d'utilisation graphique OPEN LOOK et Sun™ a été développée par Sun Microsystems, Inc. pour ses utilisateurs et licenciés. Sun reconnaît les efforts de pionniers de Xerox pour la recherche et le développement du concept des interfaces d'utilisation visuelle ou graphique pour l'industrie de l'informatique. Sun détient une licence non exclusive de Xerox sur l'interface d'utilisation graphique Xerox, cette licence couvrant également les licenciées de Sun qui mettent en place l'interface d'utilisation graphique OPEN LOOK et qui en outre se conforment aux licences écrites de Sun.

LA DOCUMENTATION EST FOURNIE "EN L'ÉTAT" ET TOUTES AUTRES CONDITIONS, DECLARATIONS ET GARANTIES EXPRESSES OU TACITES SONT FORMELLEMENT EXCLUES, DANS LA MESURE AUTORISÉE PAR LA LOI APPLICABLE, Y COMPRIS NOTAMMENT TOUTE GARANTIE IMPLICITE RELATIVE A LA QUALITÉ MARCHANDE, A L'APTITUDE A UNE UTILISATION PARTICULIÈRE OU A L'ABSENCE DE CONTREFAÇON.



リサイクル
してください



Adobe PostScript

Sun Ultra 40 Workstation

リリースノート

この文書では、Sun Ultra™ 40 Workstation に関する次の問題と考慮事項について説明します。

全般的な情報

- 「オペレーティングシステムのサポート」(3 ページ)
- 「マニュアルの URL」(3 ページ)
- 「マニュアル正誤表」(3 ページ)

ハードウェアと BIOS に関する問題

- 「Supplemental CD V1.0 には、古いバージョンの BIOS が入っています。」(4 ページ)
- 「セカンダリ PCI-E グラフィックスロットの BIOS 設定」(4 ページ)

PC-Check 診断に関する問題

- 「グラフィックカードをテストするときに 1 枚しかカードが認識されない」(5 ページ)
- 「デジタルオーディオ (SFDIF) の診断テスト機能がない」(5 ページ)
- 「TPM の診断テスト機能がない」(5 ページ)

Solaris 環境で発生する問題

- 「Solaris 10 HW 1/06 環境で 2 枚のグラフィックカードを使用する」(6 ページ)
- 「Solaris 10 のインストール済みソフトウェアのイメージ」(6 ページ)
- 「NVIDIA FX1400 グラフィックカードが装着された状態で `install.sh` を実行すると画面表示が白くなる」(7 ページ)
- 「一部の 1394 デバイスの使用時にシステムが誤作動する」(7 ページ)
- 「仕様に準拠していない USB ハードディスクの使用時にシステムが誤作動する」(8 ページ)

- 「sys-unconfig を実行すると時刻クロックにエラーが発生する」(8 ページ)

Windows XP 環境で発生する問題

- 「XP インストール CD を挿入して起動すると画面に何も表示されなくなる」(8 ページ)

Linux 環境で発生する問題

- 「RHEL 4 Updates 1 および 2 環境で NVIDIA FX1400 カードを使用すると画面表示が白くなる」(9 ページ)
- 「RHEL 3 環境でサウンドカード検出プログラムを実行してもサウンドカードが検出されない」(9 ページ)
- 「SMP カーネル RHEL 4 Update 2 (32 ビット版) 環境で install.sh スクリプトを実行してから再起動すると、画面に何も表示されなくなる」(10 ページ)
- 「RHEL4 Update 2 (32 ビット版) の EL カーネル環境で ACPI を有効にすると、Xserver が起動しない」(11 ページ)
- 「RHEL3 Update 6 (64 ビット版) 環境で GART エラーが発生する」(11 ページ)
- 「ビデオドライバのインストール後に Kudzu が定期的に誤ったグラフィックドライバを検出する」(11 ページ)
- 「看過してよい RHEL4 Update 2 (64 ビット版) のメッセージ」(12 ページ)
- 「RHEL4 Update 2 (32 ビット版) の EL カーネル 環境で表示される ATA のタイムアウトメッセージ」(12 ページ)
- 「RHEL3 Update 6 (32 ビット版) で init 3 を実行するとシステムがハングアップする」(13 ページ)

全般的な情報

オペレーティングシステムのサポート

この文書の発行時点で Sun Ultra 40 Workstation でサポートされているオペレーティングシステム (OS) のバージョンは次のとおりです。

- インストール済みの Solaris 10 HW 1/06
- Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 4 Update 2 (32 ビット版および 64 ビット版)
- RHEL 3 Update 6 (32 ビット版および 64 ビット版)
- SUSE Linux Enterprise (SLES) SP3 (32 ビット版および 64 ビット版)
- Windows XP32 SP2
- Windows XP64

最新のサポート対象オペレーティングシステムについては、<http://sun.com/ultra40> を参照してください。

マニュアルの URL

Sun Ultra 40 Workstation のマニュアルの最新バージョンは、次の URL にアクセスすると入手できます。

http://www.sun.com/products-n-solutions/hardware/docs/Workstation_Products/Workstations/ultra_40/index.html

マニュアル正誤表

『Sun Ultra 40 Workstation Setup Guide』(819-3951-10) 11 ページの「Installing the Operating System」セクションのステップ 2a で、「Installed O/S」BIOS 設定を「Win2K/XP」に変更してから Windows XP オペレーティングシステムをインストールするようにと説明していますが、これは誤りです。

Windows XP の場合、正しい「Installed O/S」BIOS 設定は「Windows」です。

ハードウェアと BIOS に関する問題

Supplemental CD V1.0 には、古いバージョンの BIOS が入っています。

実際の BIOS は、Sun Ultra 40 Workstation Supplemental CD V1.0 のリリース後に更新されています。この CD に収録されている BIOS は古いバージョンです。Supplemental CD v1.0 に収録されている BIOS のバージョンは 1.00 です。この CD を使ってシステム BIOS をアップデートしないでください。

Sun Ultra 40 Workstation の BIOS をアップデートするには、<http://www.sun.com/ultra40> のダウンロードリンクにアクセスし、最新バージョンの Supplemental CD を入手してください。

セカンダリ PCI-E グラフィックスロットの BIOS 設定

プライマリ PCI-Express スロットは PCI-E1 スロットと同義です。セカンダリ PCI-Express x16 スロット (PCI-E3) を使用する場合は、次の手順に従って BIOS を変更します。

1. プライマリグラフィックカードスロットにモニターを接続した状態で、ワークステーションを起動します。
2. Sun のロゴ画面が表示されたら、F2 キーを押して BIOS セットアップユーティリティを起動します。
3. 「Advanced」メニューを選択します。
「PCI-E X16 VGA CARD SELECT」 エントリに、どのスロットがプライマリグラフィックスロットであるかが定義されています。POST と起動処理の実行中に表示されるカードの情報は、このカードのみの情報です。
4. 「PCI Express Slot 3」を選択して、PCI-E 3 グラフィックスロットを有効にします。
5. F10 キーを押して、変更内容を保存し BIOS を終了します。

この次にワークステーションを再起動したときに、セカンダリグラフィックカードからの出力が表示されます。

PC-Check 診断に関する問題

グラフィックカードをテストするときに 1 枚しかカードが認識されない

PC-Check でグラフィックのテストを実行しているときは、プライマリグラフィックカードのみが認識されます。2 枚のカードを取り付けて両方のカードをテストする場合は、プライマリグラフィックカードの表示をセカンダリグラフィックカードに切り替えてから（「セカンダリ PCI-E グラフィックスロットの BIOS 設定」(4 ページ)を参照）、グラフィック診断テストを再度実行してください。

今後の PC-Check のリリースには、2 枚のカードをテストする機能が追加される予定です。

デジタルオーディオ (SFDIF) の診断テスト機能がない

初期リリースの PC-Check には、SPDIF ポートをテストする機能がありません。

今後の PC-Check のリリースには、このテストが追加される予定です。

TPM の診断テスト機能がない

初期リリースの PC-Check には、TPM をテストする機能がありません。

今後の PC-Check のリリースには、このテストが追加される予定です。

Solaris 環境で発生する問題

Solaris 10 HW 1/06 環境で 2 枚のグラフィックカードを使用する

ここで記述する問題の対象は、Solaris™ 10 オペレーティングシステムの HW 1/06 バージョンを完全再インストールした場合であり、Sun Ultra 40 Workstation に付属のインストール済みイメージは対象にはなりません。

新しくインストールした Solaris 10 HW 1/06 にログインしようとしても、ログインできず、画像がゆがんで表示されます。

回避方法: 次の方法で、Sun Ultra 40 Workstation Supplemental CD に収録されている NVIDIA ディスプレイドライバをインストールします。

1. コマンドプロンプトを使用して、**root** (スーパーユーザー) としてログインします。
2. **CD-ROM** ドライブに **Supplemental CD** を挿入します。
3. `/cdrom/cdrom0/drivers/sx86` ディレクトリにある `install.sh` を実行します。
4. ワークステーションを再起動します。
5. **JDS** を使用してログインする前に、**CDE** デスクトップを使用してワークステーションに一度ログインします。

次のログイン時に、JDS ログインが機能します。

Solaris 10 のインストール済みソフトウェアのイメージ

PCI-Express スロットから別のスロットにカードを付け替えても、付け替える前のスロットのインスタンスがまだ `nvidia0` として OS に記録されているため、付け替えた先のスロットは `nvidia1` として割り当てられます。

回避方法:

- `/dev/nvidia0` リンクのリンク先を `/dev/fbs/nvidia1` に変更します。または
- 次の方法で `/etc/path_to_inst` ファイルを更新します。

- a. 次のコマンドを入力して、テキストエディタで `/etc/path_to_inst` を開きます。

```
vi /etc/path_to_inst
```

- b. ファイルからすべての `nvidia` エントリを削除します。
- c. ファイルを保存して閉じます。
- d. 起動コマンドプロンプトで `b -r` と入力して、この設定を有効にするために再起動します。
- 再起動後に、`nvidia0` が新しいスロットに割り当てられます。

NVIDIA FX1400 グラフィックカードが装着された状態で `install.sh` を実行すると画面表示が白くなる

Solaris 10 オペレーティングシステム HW 1/06 環境で `install.sh` を実行すると、再起動後に画面表示が白くなることがあります。この現象が発生した場合は、もう一度ワークステーションを再起動してください。

一部の 1394 デバイスの使用時にシステムが誤作動する

この問題は、一部の 1394 デバイスに関する既知の問題です。この文書の作成段階では、これに対応するパッチ ID は存在しませんが、パッチの開発を検討中です。

詳細は、次の URL にアクセスし、バグ ID 6260568 を検索してください。

<http://sunsolve.sun.com>

仕様に準拠していない USB ハードディスクの使用時にシステムが誤作動する

この問題は、一部の USB ハードディスクに関する既知の問題です。この文書の作成段階では、これに対応するパッチ ID は存在しませんが、パッチの開発を検討中です。

詳細は、次の URL にアクセスし、バグ ID 6346270 を検索してください。

<http://sunsolve.sun.com>

sys-unconfig を実行すると時刻クロックにエラーが発生する

時刻クロックのエラーメッセージは、sys-unconfig の実行後や、その後に行った日時設定の後に発生します。

F2 キーを押して、Solaris 10 オペレーティングシステムの設定を実行します。

Windows XP 環境で発生する問題

XP インストール CD を挿入して起動すると画面に何も表示されなくなる

この問題は、ハードディスクに Linux パーティションが存在すると発生します。この問題が発生したら、ハードディスクから Linux パーティションを削除します。

ブートディスクパーティションを削除するには、Sun Ultra 40 Workstation Supplemental CD をワークステーションに挿入して再起動し、オプションの「3」を選択して Erase Primary Boot Disk ユーティリティを起動し、ディスク全体の内容を完全に消去します。

Linux 環境で発生する問題

RHEL 4 Updates 1 および 2 環境で NVIDIA FX1400 カードを使用すると画面表示が白くなる

一部の Linux ディストリビューションでは、組み込み式の nv ドライバにバグがあるため、インストール中に画面表示が白くなることがあります。

FX1400 カードが装着されているシステムでこの問題が発生した場合は、次の手順で対処します。

1. オペレーティングシステムをテキストモードでインストールするか、インストール時に VESA グラフィックドライバを選択します。
2. インストールが完了したら、Sun Ultra 40 Workstation Supplemental CD に収録されている `install.sh` ファイルを実行して、最新の NVIDIA ディスプレイドライバをインストールします。

オープンソースの nv ドライバでは、このバグは解決されています。この文書の作成段階では、標準の Linux ディストリビューションに、修正版のドライバは収録されていません。

RHEL 3 環境でサウンドカード検出プログラムを実行してもサウンドカードが検出されない

`install.sh` の実行後は、`modules.conf` ファイルが NVIDIA サウンドドライバの情報で更新されます。

Linux 環境でサウンドカード検出プログラムを実行した場合は、`modules.conf` が誤った情報で更新されるため、NVIDIA サウンドドライバを使用しても音が出されません。

回避方法：

1. /etc/modules.conf ファイルに、次の行を追加します。

```
alias scsi_hostadapter sata_nv
alias usb-controller usb-ohci
alias usb-controller1 ehci-hcd
alias eth0 nvnet
alias eth1 nvnet
alias sound-slot-0 nvsound
alias snd-intel8x0 off
alias i810_audio off
```

2. ワークステーションを再起動します。

RHEL 4 環境では、この問題は発生しません。

SMP カーネル RHEL 4 Update 2 (32 ビット版) 環境で install.sh スクリプトを実行してから 再起動すると、画面に何も表示されなくなる

このバグは、RHEL 4 Update 2 (32 ビット版) の SMP カーネルバージョン 2.6.9-22 だけに存在します。このカーネルは、RHEL 4 Update 2 のデフォルトのカーネルです。

RHEL 4 Update 2 (32 ビット版) がインストールされた状態で install.sh スクリプトを実行するときは、その前に次の操作を行います。

1. 次の Web サイトから、2.6.9-22-3 (またはそれ以上) の SMP カーネルのアップデートをダウンロードします。

<http://people.redhat.com/~jbaron/rhel4/RPMS.kernel/>

2. ファイルの先頭が kernel と kernel-devel で始まる rpm を両方ともインストールします。
3. ワークステーションを再起動します。
4. Supplemental CD の install.sh を実行します。

このカーネルをアップデートを実行すると、次の問題が修正されます。

- install.sh の実行後に Xserver が起動しなくなる
- glxgears や他のアプリケーションを強制終了するとシステムの動作が停止する

RHEL4 Update 2 (32 ビット版) の EL カーネル環境で ACPI を有効にすると、Xserver が起動しない

この問題は、Sun Ultra 40 Workstation の BIOS バージョン 1.00 で発生します。

この問題を修正するには、次に例のとおり、`/etc/grub.conf` の `kernel` コマンド行に `acpi=off` を追加します。

```
title Red Hat Enterprise Linux AS-up (2.6.9-22.EL)
root (hd0,0)
kernel /vmlinuz-2.6.9-22.EL ro Åc rhgb quiet acpi=off
initrd /initrd-2.6.9-22.EL.img
```

RHEL3 Update 6 (64 ビット版) 環境で GART エラーが発生する

RHEL 3 Update 6 (64 ビット版) 環境では、コンソールやシステムログに次のエラーメッセージが出力されます。このメッセージは無視してもかまいません。

```
Northbridge status a6000001:00050016
Error gart error
Gart TLB error generic level
err CPU 1
processor context corrupt
error uncorrectible
previous error lost
NB error address 0000000037FF0000
```

ビデオドライバのインストール後に Kudzu が定期的に誤ったグラフィックドライバを検出する

この問題の発生頻度は低く、NVIDIA 7676 ディスプレイドライバを使用したときのみ発生します。このドライバは Supplemental CD には収録されていません。

`install.sh` の実行後にリブートすると、Kudzu が誤ってグラフィックカードを再検出することがあります。この問題が発生した場合、Kadzu のメッセージにビデオカードが `nv41` として表示されることがあります。

回避方法:

- **kudzu** のメッセージが表示されたら、「ignore」を選択します。

設定を選択すると、自動的に `xorg.conf` ファイルが更新され、「nvidia」が「vesa」に置き換えられます(次の例を参照)。

```
Section "Device"
Identifier "VideoCard"
Driver "vesa"
VendorName "Video Card Vendor"
BoardName "Nvidia Quadro FX540"
```

この状態になったら、「vesa」を「nvidia」に戻します。前述したように、この問題を無視しても何の支障もないため、「ignore」を選択してください。

看過してよい RHEL4 Update 2 (64 ビット版) のメッセージ

次のメッセージが何度もコンソールに表示されることがありますが、これは無視してかまいません。

```
K8-bus.c bus 254 has empty cpu mask.
```

RHEL4 Update 2 (32 ビット版) の EL カーネル環境で表示される ATA のタイムアウトメッセージ

次のメッセージが何度もコンソールに表示されることがありますが、これは無視してかまいません。

```
ata2: command 0x35 timeout, stat 0xd0 host_stat 0x20 error
```

RHEL3 Update 6 (32 ビット版) で `init 3` を実行するとシステムがハングアップする

`init 3` コマンドを使用して実行レベルを 5 から 3 に変更すると、周期的にシステムがハングアップします。

この現象が発生した場合は、ワークステーションを再起動してください。

看過してよい SLES 9 のメッセージ

次のメッセージがコンソールに表示されることがありますが、これは無視してかまいません。

```
linux kernel: driver/usb/input/hid-input.c: event field not found
```

